

令和元年 11 月 11 日

関係機関長および関係各位

京都大学自然科学域防災学系長
(防災研究所長)

橋本 学

教員の公募について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

当研究所は「災害に関する学理の研究及び防災に関する総合研究」を目的とする全国共同利用の研究所であり、5 研究部門・6 附属研究センターによって構成されています。平成 22 年度より、「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」に認定され、より広範な共同利用・共同研究を推進しております。

このたび、下記の通り教員を公募することになりました。つきましては、ご多用のところ、まことに恐縮ではございますが、関係各位の皆様方にご連絡いただくとともに、適任者の応募についてよろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

なお、京都大学では、大学改革の一環として平成 28 年度より学域・学系制度を導入しました。この制度では、教員は教員組織としての学系に所属し、従来の部局は教育研究組織と位置づけられています。

敬具

記

1. **職 種**： 教授
2. **募集人員**： 1 名
3. **所 属**： 京都大学自然科学域防災学系
4. **勤務場所**： 京都大学防災研究所
地盤研究グループ 地盤災害研究部門 山地災害環境研究分野
(所在地：宇治市五ヶ庄)
5. **職務内容**：

地質構造や堆積構造などに着目し、深層・表層崩壊などの研究を、現地調査・観測、室内分析・実験等によって行う。加えて、それらの発生機構等に関する検討をフィールドに根ざした理論的研究によって推進する。さらに、地形学や地質学などの研究分野の考え方を取り入れ、国内外の研究者と連携しつつ国際的なリーダーシップを発揮し、崩壊や地形発達、岩石風化などの山地災害環境に関する研究を深化・発展させる人材を求める。教育面では、京都大学大学院理学研究科地球惑星科学専攻の教育担当を予定している。

6. **資格等**： 博士の学位を有すること。
国籍は問わないが、日常的に日本語が使えること。
7. **採用予定日**： 令和2年4月1日（または令和2年4月1日以降可能な限り早い時期）
8. **任期**： なし
9. **試用期間**： あり（6ヶ月）
10. **勤務形態**： 専門業務型裁量労働制（週38時間45分相当、1日7時間45分相当）
休日：土・日曜日、祝日、年末年始、創立記念日及び夏季休業日
11. **給与・手当等**： 本学支給基準に基づき支給
12. **社会保険**： 文部科学省共済組合、厚生年金、雇用保険及び労災保険に加入
13. **応募方法**： 次の(1)～(6)各一式
- (1) 履歴書
 - (2) 研究業績一覧（査読付き論文とその他の論文、著書、解説、報告などに分けしたもの）
 - (3) 主要論文別刷（コピー可）5編
 - (4) 研究業績の概要（A4用紙2枚以内）
 - (5) 今後の研究計画及び抱負（A4用紙2枚以内（説明図の利用可）。これまでの実績を踏まえてどのような研究を行うか、応募者の考えを示すこと）
 - (6) 推薦書（または、応募者について意見を伺える方2名の氏名と連絡先）
14. **書類提出先**：
〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付
地盤災害研究部門 山地災害環境研究分野 教授候補者選考調査委員会 宛
（封筒の表に「教員応募書類在中」と朱書き、郵送の場合には書留にすること）
15. **応募締切**： 令和2年1月14日（火）【必着】
16. **選考方法**： 書類選考のうえ、必要に応じて面接を行います。面接等の詳細は、別途連絡します。
17. **問い合わせ先**：
〒611-0011 宇治市五ヶ庄 京都大学防災研究所担当事務室 気付
地盤災害研究部門 山地災害環境研究分野 教授候補者選考調査委員会 宛
e-mail: apply_staff[at]dpri.kyoto-u.ac.jp （‘at’を@に置き換えてください）
（封書あるいは電子メールに限ります）
18. **その他**：
応募書類に含まれる個人情報、選考および採用以外の目的には使用しません。
なお、応募書類はお返ししませんので、あらかじめご了承ください。
京都大学は男女共同参画を推進しています。多数の女性研究者の積極的な応募を期待しています。本学における男女共同参画推進施策の一環として、「雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律（男女雇用機会均等法）」第8条の規定に基づき、選考において評価が同等である場合は、女性を優先して採用します。
10. および11. の詳細は下記 web ページ「国立大学法人京都大学就業規則一覧」をご覧ください。<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/organization/kisoku/kichiran.html>

地盤災害研究部門の概要

1. 研究目的及び研究内容の概要

本研究部門では、地盤災害に関連する基礎学理に根ざし、地盤災害の予測と軽減を目指した研究を展開しています。関連する学術専門分野は、地盤工学、地球物理学、地質学、地形学、水文学、地球化学、環境工学などで、多岐にわたる学際的領域となっています。

地盤災害には、液状化、地盤沈下、斜面崩壊、地すべり、土壌侵食、建設工事に伴う斜面や床盤の変形、地下水の問題、特殊土の変形や流出、地下の都市施設や地下空間の変形や陥没など多くの複雑なメカニズムを持つ現象があります。さらに、人間の社会活動の拡大によって、地盤災害の発生場も、山地から丘陵の傾斜地、低平地、水際地盤にまで多様化してきました。

本研究部門では、このように多様な環境下における地盤災害現象の発生と挙動の研究、地盤災害ハザードマップの作成手法と災害軽減手法の開発などを主要課題として掲げ、分野横断的な理工融合の学際研究を推進しています。なお、地盤災害研究部門は下記の3分野で構成されています。

地盤防災解析研究分野

人間活動が集中する大都市平野部における地盤災害に焦点を当て、遠心力載荷実験や数値解析に基づき、地震時における水際低平地の地盤災害、地盤・構造物系の耐震性向上のための研究を行うとともに、地盤災害防災対策への応用研究など、幅広い地盤災害問題に関わる研究を推進しています。

山地災害環境研究分野

山地災害の発生ポテンシャルを評価し、災害を軽減するために、例えば岩石の風化、重力による山体の変形、崩壊、侵食、運搬、堆積について研究を進めています。野外での地質・地形調査、リモートセンシング解析、降雨浸透計測、および室内における鉱物や地下水の化学分析などにより、山地災害を長期的地質現象として位置付けた研究を行うとともに、短期間の力学的現象として位置付けた研究を進めています。

傾斜地保全研究分野

斜面環境が及ぼす物質移動過程の変化やそれに伴う斜面地盤の変動など、地盤災害に連鎖する地球科学的諸現象を物理・化学的に理解すること、また、それらに基づいて減災へ寄与するための科学的知見を社会へ還元することを研究の主目的にして、斜面・傾斜地の利用・管理の状態と水・土の動態変化、応用地質・地形学や水文学、さらに電磁気学などの融合による崩壊・地すべりの予測手法と斜面監視技術の開発などの研究を行っています。

2. 現在の教員構成 (2019年11月11日現在)

	【教授】	【准教授】	【助教】
地盤防災解析研究分野	渦岡良介	(空席)	上田恭平
山地災害環境研究分野	千木良雅弘*	松四雄騎	齊藤隆志

傾斜地保全研究分野

松浦純生

寺嶋智巳

(*令和2年3月31日定年退職予定。今回の公募ポスト)

共同利用・共同研究拠点について

防災研究所は、大学の枠を超えて、大型の研究設備や大量の資料・データ等を全国の研究者が利用し、共同研究を行う全国共同利用研究所として、共同利用や共同研究を推進してきました。平成20年7月に創設された、文部科学大臣による「共同利用・共同研究拠点」の認定制度により、平成22年度からは、新たに「自然災害に関する総合防災学の共同利用・共同研究拠点」として共同利用・共同研究を推進しています。

京都大学防災研究所の詳細は下記のホームページをご参照下さい。

<http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/>

**Professor Position in the Research Section of Mountain Hazards,
Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University**

November 11th, 2019

The Disaster Prevention Research Institute (DPRI), Kyoto University invites applications for a permanent Professor position.

Location: Research Division of Geohazards, Disaster Prevention Research Institute, Kyoto University, Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011, Japan.

Job description and required qualifications: The appointed professor is required to conduct research on deep-seated and shallow landslides focusing on geology and sedimentary structures through both field surveys/observations and indoor analyses/experiments. He/she needs to study the mechanism of landslides using theoretical approaches and advance based on the actual phenomena that occur on-site. By incorporating the research fields such as geomorphology and geology, he/she is also expected to develop and deepen pioneering research on mountain hazards, including landslides, landform evolution, and rock weathering in collaboration with domestic and foreign researchers. He/she will also have educational responsibilities in the Division of Earth and Planetary Sciences, Graduate School of Science, Kyoto University. He/she must hold a doctorate or equivalent degree and be proficient in Japanese.

Anticipated start date: April 1st,2020 or as soon as possible after April 1st,2020.

Probation period: 6 months

Working time: Discretionary labor system (standard working hours: 7 hours 45 minutes per day, 38 hours 45 minutes per week)

Days off: Saturdays, Sundays, public holidays, Year-end and New Year holidays, University Foundation Day, and summer vacation.

Salary and Allowance: To be determined in accordance with Kyoto University regulations.

Social insurance: (1) National Public Service Mutual Aid Associations, (2) Employee's pension insurance, (3) Unemployment insurance, and (4) Worker's accident insurance

Applicants should prepare the following materials:

(1) Curriculum vitae

- (2) List of publications (divided clearly into refereed journal papers and others)
- (3) Copies of five relevant papers
- (4) Brief summary of research and related contributions (up to two A4 pages)
- (5) Statement of research plans (up to two A4 pages, including figures)
- (6) Recommendation letters or names and contact information of two references (include addresses, fax numbers, and e-mail addresses)

The complete application package must arrive by the deadline of January 14th, 2020 (JST) at the following address:

Selection Committee for Mountain Hazards Professor
Administrative Office, Uji Campus,
Kyoto University
Gokasho, Uji, Kyoto 611-0011 JAPAN

For inquiries, send e-mail to apply_staff 'at' dpri.kyoto-u.ac.jp (replace 'at' with @)

For more information about DPRI, see <http://www.dpri.kyoto-u.ac.jp/en/>.

The university will not return your application documents.

Personal information contained in the application documents will be used solely for the purpose of screening applicants, and never for any other purposes.

The Disaster Prevention Research Institute is building a culturally diverse faculty and strongly encourages applications regardless of gender or disability.

The university is an Equal Opportunity, Affirmative Action Employer.